

# デミ プラス ご使用の手引き

Kerr™



ハンドピース、ライトガイド、ライトシールド、電池パック、充電器、ACアダプタ、デミスリーブから構成されています。



ご購入後、初めて使用する際はバッテリー活性化のため16時間以上充電します。

- 01 ACアダプタに100Vプラグをカチッと音がするよう取り付け、コネクタを充電器に接続します。



- 02 ACアダプタを電気コンセントに接続します。

- 03 電池パックを装着したハンドピース、または電池パック単体を充電器にセットします。2つ同時に充電することができます。



- 04 充電器のLEDリングは充電状態を示します。

● 緑点灯 充電完了 ○ 橙点灯:充電中

○ 橙点滅 充電失敗、電池パック不良または寿命。

※ 橙点滅が繰り返される場合は電池パックを交換してください。

## 照射操作

- 1 滅菌したライトガイドを本体に差し込み、ライトシールド（遮光板）を装着します。
- 2 タイマーセレクトボタンを押して照射時間（5,10,20秒）を選択します。
- 3 ライトガイド先端を歯面に極力近づけ、照射ボタンを押すと照射が開始されます。照射中は5秒毎および終了時にビープ音が鳴ります。
- 4 電池残量はパワーランプで示されます。
- 消 灯 電池残量有
  - 黄点灯 電池残量少
  - 赤点灯 電池残量無、要充電



材 料	推奨照射時間
コンポジットレジン A3以下の淡色（厚さ2mm）	5秒
コンポジットレジン A3.5以上の濃色	10秒
ボンディング材 / レジンセメント	5秒

## ハードネスディスクによる硬化検証

- 1 ガラス練板などの上にハードネスディスクの「TEST SIDE」を下に向けて置き、「CURE SIDE」から使用するコンポジットレジン（以下、CR）を穴の1つに充填します。
- 2 CRのメーカー指示による厚さ3mmの照射時間で光照射し、硬化させます。
- 3 ディスクを裏返し、「TEST SIDE」から硬化したCR表面の硬化状態を確認します。
- 4 硬化不良が見られる場合は光出力の低下や、CRの品質不良が疑われます。



## 清掃 / 滅菌

### ● ライトガイド .....

#### 清掃

- 1 ライトガイドを中性洗剤の水溶液に浸す。
- 2 10分後、汚れが落ちるまでブラシでこすり落とす。
- 3 ぬるま湯ですすぐ。

#### 滅菌

蒸留水を使い高圧蒸気滅菌（重力置換式132°Cで20分、真空脱気式135°Cで3~4分間）を行う。  
ケミクレープ不可

#### 付着したコンポジットレジンの除去

アルコールを浸したガーゼでこすり落とす。

### ● ハンドピース / 充電器 .....

#### 清掃

プラスチック製部品は、プラスチック用の洗浄液を含ませた布で拭き清掃すること。

## ご注意

- 新品の電池パックは初回使用前に16時間以上の充電を実施すること。
- 持ち方によって電池パックがずれ、接触不良が起こる場合があるため、軽く握るかペングリップで保持すること。
- 電池パックを無理に引き抜いたり、折り曲げるような力を加えると破損の原因となるので注意すること。
- ライトガイドは未滅菌の状態なので、患者に使用する前に必ず滅菌すること。滅菌方法に関しては「清掃/滅菌」を参照すること。
- 汚染防止のため、使用の際は必ずデミスリーブを装着すること。
- 本装置は高出力硬化工エネルギーを発生する。既存の機器と比べて硬化工エネルギーのかなりの増加が可能なので、  
**以下の注意事項及び手順**に従うこと。

1. 保護されていない歯肉や皮膚には、直接光を当てたり、その方向に向けて光を当てないこと。
2. 光照射強度の増加に応じて、照射時間の短縮、ライトガイドと歯面との距離を離すなど調整すること。
3. 術者、助手、および患者は適切な保護めがねを着用し、光を直視しないこと。
4. 術者、助手、および患者が光過敏性の症歴をもつ場合や光感受性の薬を使用している場合は、  
本装置からの光に曝露されないようにすること。

- 可燃性麻酔用混合ガスあるいは酸素や笑気ガスなどの酸化性ガスが存在するところでの本装置の使用には注意すること。
- 本装置はLED発光ダイオードを使用しており、従来のハロゲンタイプと波長が異なるので、使用する材料に「光重合型」の表記が  
あっても、硬化の確認を行うこと。ボンディング材等の液体はガラス練板に一滴落とし、光照射を行い、硬化を確認すること。
- ライトガイドの汚れを防ぐため、光重合開始後数秒は先端が修復材に触れないようにすること。
- ライトガイドに付着したコンポジットレジンを除去する際、鋭利な器具を使用しないこと。
- 充電完了後は電池パックを充電器から取り外して保管しておくこと。
- 電池パックを放置すると寿命が損なわれる所以、少なくとも6ヶ月に1回は充電すること。
- 電池パックおよび充電器の接点部が汚れていると充電不良を起こす場合があるので、電池パックを充電器に差し込む前には  
3箇所ある接点部を乾いた布で拭いてから差し込むこと。
- 電池パックおよび充電器の接点部には、金属等の導電性のものが触れないようにすること。
- 電池パックは300回のフル充電、フル放電が可能。フル充電された電池パックは5秒照射500回可能。
- 出力を測定するときはLED専用のラジオメーターを使用すること。



Envista エンビスタジャパン株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー

TEL:0800-111-8600 FAX:03-6866-7273

[www.envistaco.jp](http://www.envistaco.jp)

PM-K275-10V1- 資 01